

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

大阪市立自然史博物館 第52回特別展
「日本の鳥の巣と卵427 ～小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて～」
を開催します



大阪市立自然史博物館では、令和4年4月29日（金・祝）から6月19日（日）まで、特別展「日本の鳥の巣と卵427 ～小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて～」を開催します。



すべての鳥は、卵として産まれてきます。ほぼすべての鳥で、卵は巣に産まれます。鳥にとって巣と卵は、子どもを残していく上で欠かせないものです。それぞれの鳥が、それぞれに場所を選んで、巣をつくり、卵を産んで、子どもを育てます。

日本では、250種を超える鳥の繁殖が確認されています。大阪府で繁殖記録のある種だけでも100種を超えます。つまり、それと同じだけの種類の巣と卵があることになります。

大阪府河内長野市在住の小海途銀次郎氏は、鳥の巣を集めはじめて約60年。そのコレクションは日本最大で、日本産の鳥類を中心に168種427点に及びます。

小海途銀次郎氏の鳥の巣のコレクションは、海鳥の巣は多くありませんが、本州、とくに近畿地方で繁殖する鳥はほぼ網羅されており、その他、北海道や三宅島、奄美大島の小鳥類の巣のコレクションも充実しています。巨大なクマタカやミサゴの巣は圧巻です。

近年、日本での繁殖が確認されるようになったカラアカハラやジョウビタキの巣といった貴重なものもあり、またヒヨドリやモズといった身近な普通種では、時代とともに巣の変化をおうこともできます。学術的に非常に価値の高いコレクションとなっています。

この特別展では、小海途銀次郎氏の日本一の鳥の巣コレクションをすべて展示します。あわせて、それぞれの鳥の卵も並べて、日本の鳥の巣と卵の多様性を見て頂きます。また、日本で繁殖する鳥と、その変遷についても紹介します。

I. 開催概要

1. 名 称 特別展「日本の鳥の巣と卵427
～小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて～」
2. 主 催 大阪市立自然史博物館
3. 会 期 令和4年4月29日（金・祝）～6月19日（日）
※開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
4. 休館日 月曜日（ただし5月2日は開館）
5. 会 場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
HP：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
6. 観覧料 大人500円、高校生・大学生300円
期間内特別展フリーパス 大人1000円、高大生600円
※本館（常設展）とのセット券は、大人700円、高大生400円。
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。
※本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。
7. 後 援 大阪市教育委員会

○プレス内覧会を、開幕前日の令和4年4月28日（木）午後1時より、自然史博物館 本館 集会室および特別展会場で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。

○広報用画像、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。

広報用画像申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

II. 主な展示および広報用資料写真・画像（掲載の画像は広報目的でのみご利用いただけます）

「小海途銀次郎鳥の巣コレクション」

日本産を中心に、168種 427点をすべて展示します。小海途銀次郎氏は、大阪府河内長野市在住で、60年にわたって鳥の巣を収集してこられました。そのコレクションは、日本最大規模で、今までにいくつもの図鑑などの本で紹介されています。しかし、それをすべて展示するのは、初めてのことです。小海途氏の鳥の巣を採集する際のエピソードをつづった「鳥の巣採集記」はとても面白いです。



1. 巨大なクマタカの巣（約115×95cm）



2. カワセミの巣

土に横穴をあけて巣をつくるので、その巣の標本は土のかたまり。とても重い。



3. カワガラスの巣

コケのかたまり。



4. カササギの巣

木の枝でつくったボール、直径約70cm。



5. コサメビタキの巣

表面に地衣類をはりつけていて美しい。

「日本産の鳥の卵」

鳥の巣にあわせて、日本産の鳥 120 種の卵も展示します。岩崖の棚の巣や、穴を掘る海鳥の巣は、採集がほぼ不可能です。そうした鳥については、巣はなくとも卵を展示します。卵の形、色、もようの多様性を楽しめます。



6. 片方が尖ったウミガラスの卵



7. とても小さなエナガの卵



8. ウグイスの卵と、ウグイスに托卵したホトトギスの卵（左端）

「日本の鳥の繁殖状況と、大阪府を中心にその変遷」

2016年～2021年に第3回の全国鳥類繁殖分布調査がおこなわれ、日本で繁殖する鳥の現在の様子が明らかになりました。過去2回の調査とともに、日本で繁殖する鳥の変化を紹介します。

大阪府で繁殖する鳥に関しては、大阪市立自然史博物館で蓄積してきたデータを元に、さらに詳細に、繁殖の変遷を紹介します。

Ⅲ. 特別展関連行事

特別展の展示について理解を深め、より楽しめる行事を開催します。

【特別展普及講演会】

■「何で作る？どこに作る？メジロにおける巣の工夫と子育て」

鳥たちが工夫を凝らして作る巣。そもそも何のために作るのでしょうか？もちろん、子育てのためです。卵や雛を守り、巣立ちまで使い続ける巣。メジロの子育ての研究から、巣をめぐる親鳥の工夫をご紹介します。

日 時：5月14日（土）13時30分～15時30分

講 師：堀江 明香 氏（大阪市立自然史博物館 外来研究員）

行事形式：YouTubeを使った配信

対 象：インターネットに接続することができる方

※YouTubeでの聴講は申し込み不要です。

視聴方法等については、「Ⅲ. 特別展関連行事」の最後にまとめて掲載します。

【特別展普及講演会】

■「全国鳥類繁殖分布調査でわかった日本のそして大阪の鳥の現状と変化」

2016-21年に全国のバードウォッチャーの手で実施された全国鳥類繁殖分布調査。この調査から森の鳥が復活傾向にあることなどわかってきました。そして逆に減っていた鳥は？ そうした結果についてご紹介します。

日 時：6月18日（土）13時30分～15時30分

講 師：植田 睦之 氏（バードリサーチ 代表）

行事形式：YouTubeを使った配信

対 象：インターネットに接続することができる方

※YouTubeでの聴講は申し込み不要です。

視聴方法等については、「Ⅲ. 特別展関連行事」の最後にまとめて掲載します。

【自然史オープンセミナー】

■「大阪で繁殖する鳥の移り変わり」

かつての普通種がいなくなったり、街中の公園でいろんな鳥が繁殖をはじめたり。大阪府で繁殖する鳥のようすは、変わってきています。巣場所や巣材も昔とは違っていたりします。そんな変化をたどりま

日 時：5月21日（土）13時30分～15時30分

講 師：和田 岳（動物研究室）

行事形式：YouTube を使った配信

対 象：インターネットに接続することができる方

※YouTube での聴講は申し込み不要です。

視聴方法等については、「Ⅲ．特別展関連行事」の最後にまとめて掲載します。

【テーマ別自然観察会】

■「山の鳥のさえずり」

山で繁殖している鳥をさがすとき、たよりになるのは、さえずりです。基本的な鳥のさえずりを覚えて、山の鳥をもっと楽しめるようになりましょう。

日 時：5月22日（日） 午前10時～午後4時頃

※雨天時には中止

場 所：生駒山

対 象：小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

定 員：30名（申し込み多数の場合は抽選）

参加費：中学生以上100円、小学生50円（自然史博物館友の会会員は無料）

担 当：和田 岳（動物研究室）

【申込方法】申し込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申し込めます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「山の鳥のさえずり」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】5月7日（土）必着

【テーマ別自然観察会】

■「池の鳥の巣」

池の鳥の巣やヒナは、比較的簡単に見つけることができます。水鳥の繁殖をさがしに行きましょう。

日 時：5月29日（日） 午前10時～午後3時頃

※雨天時には中止

場 所：岸和田市久米田池

対 象：小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

定 員：30名（申し込み多数の場合は抽選）

参加費：中学生以上100円、小学生50円（自然史博物館友の会会員は無料）

担 当：和田 岳（動物研究室）

【申込方法】申し込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申し込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「池の鳥の巣」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】5月14日（土）必着

【長居植物園案内・動物編】

■「公園の鳥の巣」

街中の公園でも、カラスやスズメやシジュウカラなど、さまざまな鳥が繁殖しています。繁殖に忙しい鳥のようすをそっと観察しましょう。

日 時：5月28日（土） 午前10時～正午

※雨天時には中止

場 所：長居植物園

対 象：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）

定 員：30名（申し込み多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、植物園入園料が必要）

担 当：和田 岳（動物研究室）

【申込方法】申し込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申し込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「公園の鳥の巣」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】5月14日（土）必着

【ギャラリートーク】

展示作成に関わった学芸員が、詳しく解説します。

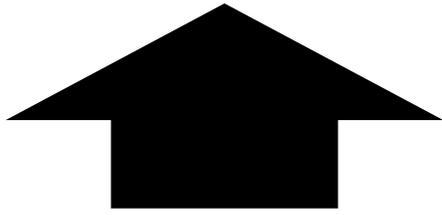
日 時：5月14日（土）、28日（土）、6月11日（土）、18日（土） 12時30分～13時

【子どもワークショップ】

特別展で、一番やさしい子ども向け行事。ハカセやスタッフと一緒に、展示を楽しもう。

日にち：5月7日（土）、8日（日）、6月4日（土）、5日（日）

【YouTubeでの視聴方法】インターネットに接続できるパソコンやスマートフォンを各自ご用意の上、YouTube「大阪市立自然史博物館」チャンネルにアクセスし、表題の番組をクリックして下さい。時間になると始まります。申し込み不要です。



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「日本の鳥の巣と卵427 ～小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて～」 プレス内覧会 取材申込書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

■ プレス内覧会

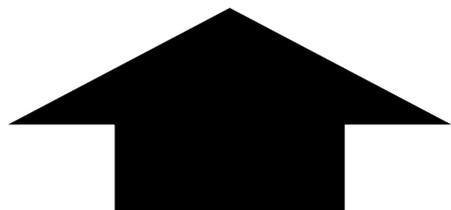
〔日時〕 令和4年4月28日（木）
午後1時

〔会場〕 大阪市立自然史博物館
本館 講堂 および 特別展会場

※博物館通用口からお越しください。



貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： メール：
	F A X：



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

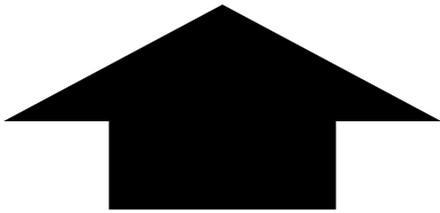
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「日本の鳥の巣と卵427 ～小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて～」
取材申請・招待券 申込書

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

また、貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、特別展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。なお、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、CD-ROM、DVD-ROMなど）お送りいただき、それと引き換えに招待券をお送りさせていただいております。

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日時	令和4年 月 日 () : ~ :
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： メール： FAX：
掲載記事・放送番組名	
掲載日（発行日） 放送日時	
招待券	希望する ・ 希望しない



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

「日本の鳥の巣と卵427 ～小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて～」 広 報 用 画 像 申 込 書

- ・ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入のうえ、ご返信ください。
- ・画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。使用後は、データを破棄してください。（令和4年6月19日(日)まで使用可）
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛までFAXまたはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部、総務課宛にお送り下さい。

N.	画像名	N.	画像名
1	巨大なクマタカの巣（約115×95cm）	2	カワセミの巣
3	カワガラスの巣	4	カササギの巣
5	コサメビタキの巣	6	片方が尖ったウミガラスの卵
7	とても小さなエナガの卵	8	ウグイスの卵と、ウグイスに托卵したホトトギスの卵（左端）

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
連絡先	電話： メール： F A X：